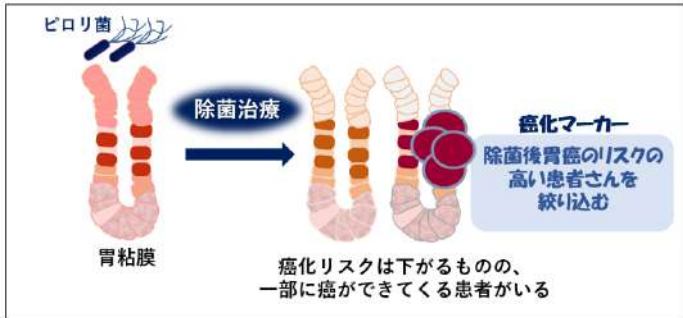


所 属・職 位	医学部医学科消化器内科学講座・教授	
氏 名	村上 和成 (Murakami Kazunari)	
取 得 学 位	医学博士、大分医科大学、1990年3月	
SDGs 目標	 3 すべての人に健康と福祉を	

研 究 分 野	消化器内科学
研究キーワード	ヘリコバクター・ピロリ感染症、上部消化管、胃癌、メチル化異常
研 究 内 容	●除菌後時代におけるリスクとなる因子の同定を目指す研究 近年、ピロリ菌を除菌することで胃癌症例は減少傾向にある。しかし除菌治療後の胃粘膜にも胃癌発生するリスクが残っていることが近年明らかとなってきた。当科ではこれまで消化器癌の発生や進展に関わるシグナル伝達経路（タンパク質リン酸化）やタンパク質メチル化の解析を行ってきた。そこで、除菌後の胃粘膜においてシグナル伝達経路やメチル化の異常がどのように残存し胃癌発生に関わるのかを明らかにすることで、除菌後胃癌の発生リスクとなる因子の同定を目指している。 ピロリ菌除菌後に胃癌でなくなることは、絶対に避けたいといけないうことである。そのためには、発癌をしても早期に発見し、内視鏡治療で治癒しうる段階でフォローする必要がある。本研究は、除菌後に内視鏡を継続する症例の選択や、内視鏡頻度の決定につながることを期待している。  ピロリ菌 胃粘膜 除菌治療 癌化リスクは下がるものの、一部に癌ができてくる患者がいる 癌化マーカー 除菌後胃癌のリスクの高い患者さんを絞り込む
研 究 業 績・アピールポイント	●論文 Murakami K, Okimoto T, Kodama M, Tanahashi J, Mizukami K, Shuto M, Abe H, Arita T, Fujioka T. Comparison of the efficacy of irsogladine maleate and famotidine for the healing of gastric ulcers after Helicobacter pylori eradication therapy: a randomized, controlled, prospective study. Scand J Gastroenterol, 46(3), 287-292, 2011. Murakami K, Sakurai Y, Shiino M, Funao N, Nishimura A, Asaka M. Vonoprazan, a novel potassium-competitive acid blocker, as a component of first-line and second-line triple therapy for Helicobacter pylori eradication: a phase III, randomised, double-blind study Gut, 65(9), 1439-46, 2016. ●著書 村上和成 Ⅲ消化管疾患 B. 胃・十二指腸 慢性胃炎 消化器疾患 最新の治療 2019-2020, 129-132, 2019.3 ●総説 村上和成 ピロリ菌感染と胃がんとの関連 日本内科学会雑誌 110(3):476-480 2021.3 村上和成 Ⅱ疾患編 3消化器疾患 「胃潰瘍」今日の診断指針 第8版 株式会社医学書院 713-714 2020